



小松市立学校PTA連合会  
会長 道場 幹雄

## 『夢・目標』挑戦する気持ちを大切に

子どもたちが夢をもって、何事にもチャレンジすることはとても大切なことです。この挑戦する気持ちというのは大人になってからでは、なかなか身に付きません。しかし、最近の子どもは何か行動しようとする「ムリ、面倒くさい」というのが口癖になっているような気がします。自分で自身の行動に制限をかけている子が非常に多いのです。挑戦して、壁にぶつかる。しかし、その壁のほとんどは努力すれば乗り越えられる。その事をどう子どもたちに教えていくのか、それが私たち大人の使命だと思います。大人が自分の物差しで子どもを測るのではなく、いろんなきっかけを与えて応援してあげることが大切だと思います。本年度「共に学び 共に育つ 明るい未来のために～家庭教育力の向上を目指して～」という主題のもと活動して参りました。子育ては子どもを社会の一員として育てるプロセスであると同時に、親としての自己成長の場でもあります。小松市のPTA活動が家庭教育向上の一助となれば幸いです。

最後になりますが、小松市立学校PTA連合会の活動にご支援、ご協力をいただきました全ての皆様に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

## 単Pだより

金野小学校、西尾小学校、波佐谷小学校は2018年3月末に閉校します。  
4月より3校が統合、新たに『松東みどり学園』として開校します。

### ありがとう ～金野っ子魂 永遠に～



金野小学校校長 北川 雅美

金野小学校は、昭和30年に大野小学校と金平小学校が統合して現在地に開校しました。

春は紅梅・ソメイヨシノ・シダレザクラ、秋には大銀杏、川のせせらぎや鳥のさえずりなど、四季折々の自然は金野っ子の心を豊かに育み続けてきました。地域とふれあう運動会、全校で参加してきた小松市児童音楽会やスキー教室、防犯隊の連携等は、本校の伝統です。毎朝のあいさつや毎月の誕生日給食も、忘れられない思い出の一つです。地域の学校として愛され、地域と共に歩んできた長い歴史に幕を下ろすのは、断腸の思いです。

「松東みどり学園」においても、長年大切に育んできた金野っ子魂や地域との絆が受け継がれていくことを祈念するとともに、新たなスタートを切る子どもたちの切磋琢磨する姿を心より願ってやみません。そして、子どもたちが地域の活力となり、故郷の未来をたくましく担っていくことを切望します。長年お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

### 金野小学校閉校にたいする思い



金野小学校校友会会長 大野 瑞樹

金野小学校は小松市の中心部より東の山あい位置し、自然豊かな環境の今年度児童数48名の小規模校です。

歴史を振り返れば、昭和30年にもともと地域にあった2校（金平小学校と大野小学校）が統合した事により誕生した小学校です。この度、63年の歴史に幕を下ろす事になりました。親子3世代で通った学校が無くなると思うと残念でありませんが、統合が正式決定してからのこの一年間は子どもたちに最高の思い出作りが出来よう意識し地域の方々や先生方の協力を仰ぎながら様々な行事を遂行して参りました。閉校記念運動会では親子お揃いTシャツを作成、着用した事、全校生徒で参加した児童音楽会でも着用し合唱することが出来ました。閉校記念誌作りでは昔懐かしい写真を観ながら思い出に浸る事も出来ました。偶然にも松東中で青山広志氏とオーケストラアンサンブル金沢の方のミニコンサートも開催され私自身も拝聴できた事、また市PTA研究大会の当番校でもあった事で、この上ないほど最高の思い出に残る一年となりました。

まだまだ重責が残っておりますがなんとか最後の行事である閉校記念式典までしっかりやりとげる事で一年の締めくくりが出来ればと思っています。

この一年様々な場面で保護者の方々、地域の皆様、そして先生方に多大なるご協力をいただきましたことこの場を借りてお礼申し上げます。大変感謝致します。ありがとうございました。かねのっ子の魂は個々の中に必ず生き続けると信じています。

# 早寝早起き朝ごはん運動

## 大人が変われば子どもも変わる

日時／平成29年12月3日(日) 13時～16時  
場所／サイエンスヒルズこまつ わくわくホールにて



未来の宝育成委員会 委員長 中森 健文

子どもたちを取り巻く環境は、驚くほどのスピードで変化しています。その変化の時代だからこそ体の調子を整える「早寝早起き朝ごはん」は子どもの成長のためにとっても大切です。この活動を保護者の方にも再確認していただく機会として本年度も実施しました。

例年通り、夏休みに小学校低学年を対象に「こまつっ子げんきアップカード」、保護者を対象に「早寝早起き朝ごはん運動パンフレット」を作成し、生活改善の啓蒙活動を行いました。また、同時に「わが家の標語」「わが家の朝ごはん」「ポスター・絵画」も募集を行い、2,781名(対昨年15%増)の子どもたちから、3,676点(対昨年18%増)の応募がありました。11年目となる本活動のご理解が高まってきたのではないかと思います。また、地域功労部門の「ラジオ体操プラス1・早寝早起き朝ごはん運動」にも6つの団体から応募がありました。その優秀作品・優秀功労団体に対し、12月3日に行いました早寝早起き朝ごはん小松市民大会にて表彰させていただきました。その市民大会では市P連の母親委員会からの発表、北陸体力科学研究所ダイナミック中崎衣美様による「朝食かんたんグレードアップ」と題した食育セミナー、体力測定やヘルスチェック(同ダイナミック)、カブッキーじゃんけん大会、クイズラリー等を行い、子どもから大人まで楽しめ、学べる環境をつくらせていただきました。生活習慣の大切さを学ぶとともに、家族のふれあい、コミュニケーションの向上につながった大会になったと思います。

本運動を通して生活習慣を見直し、子どもたちの元気で健やかな成長を見守っていただければと思います。最後に、この早寝早起き朝ごはん運動においてご支援、ご協力をいただいた多くの団体の皆様に心から感謝申し上げます。

### 〈早寝早起き朝ごはん運動〉入賞者のみなさん

#### ◆『わが家の標語』部門

南部中学校 2年 桂木 優那さん・御幸中学校 1年 西 優香さん  
串 小学校 4年 坂元 悠真さん・能美小学校 1年 中川 遥斗さん  
芦城小学校 1年 中川 翼さん

#### ◆『わが家の朝ごはん』部門

南部中学校 3年 竹田 暁さん・能美小学校 6年 中森 聡寛さん  
中海小学校 6年 宮西 芽依さん・芦城小学校 5年 高橋 眞平さん  
中海小学校 1年 塚本 悠太さん

#### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』ポスター・絵画部門

芦城中学校 3年 中谷賢太郎さん・中海小学校 6年 上野亜花梨さん  
芦城小学校 6年 金谷 寿里さん・第一小学校 4年 松原 亜希さん  
符津小学校 1年 西沢うららさん・第一小学校 1年 谷口 来夢さん

#### ◆『早寝早起き朝ごはん運動』地域運動部門

矢沢町子供会 様・蓮代寺町子供会 様

#### 2018 早寝早起き朝ごはん CALENDAR



入賞された内容が2018年のカレンダーになりました！



- ◆オープニング
- ◆開会挨拶
- ◆来賓挨拶
- ◆表彰式
- ◆研究発表「小松市立学校PTA連合会母親委員会による発表」
- ◆食育セミナー「朝食かんたんグレードアップ」 講師 中崎 衣美氏
- ◆カブッキーとジャンケン大会



コマツ HAPPY MELODY 児童合唱団です！



カブッキーとジャンケン大会！



受賞された皆さんおめでとうございます！



工作コーナー！



体力測定コーナー！



# 第3回 母親委員会

グループ別  
研究発表会

日時：平成29年10月30日(火) 午後7時より 場所：芦城センター

第2回母親委員会にて、多賀クリニック院長 多賀千之先生の講演「お母さんのための“お父さん作り” step by step」を拝聴し、各グループそれをテーマとし、討論する形で研修しました。

各グループで集まり、大変意義のある時間を過ごすことが出来ました。各小中学校に活動内容の冊子を配布させていただきました。ご覧ください。

## A 共に楽しむ子育ての為に ～ ありがとうの気持ちを言葉にのせて～



出村 康江(符津小) 佐々木香子(芦城小) 東 未奈(国府小)  
谷口 梢(今江小) ゲイトウ直美(栗津小) 田中千恵子(犬丸小)  
北方 繭子(木場小) 檜山真有美(波佐谷小)

## B 輝くお母さんになるために、 ちょっとやってみた。



池田裕美子(荒屋小) 米田みちる(苗代小) 津田久美子(安宅小)  
佐竹 佳子(申小) 河野 紗代(能美小) 伴 純子(東陵小)  
高野美貴(蓮代寺小) 蜂谷せい子(西尾小)

## C 子育てについて夫婦で考えよう ～ 今しかできない子育て～



濱谷 裕美(稚松小) 松下 智(第一小) 宮本 美樹(矢田野小)  
田中恵美子(月津小) 孫崎 里佳(向本折小) 奥村 幸恵(日末小)  
西田 梢(中海小) 釣川 久子(金野小) 谷口 宏美(那谷小)

## D 「ありがとう」は足りていますか ～ 世界中で最も大切な言葉～



松本 昭江(松東中) 山上有紀子(丸内中) 荒木 真喜(御幸中)  
稲葉 奈美(南部中) 笹山 照代(松陽中) 吉村 尚美(芦城中)  
竹田 一美(板津中) 長岡 智子(安宅中) 末吉 祐子(中海中)  
木村麻紀子(国府中)

## 早寝早起き朝ごはん運動

～ 小松市民大会 ～

■日時／平成29年12月3日(日) 13時～16時

■場所／サイエンスヒルズこまつ わくわくホールにて

早寝早起き朝ごはん運動小松市民大会においてもグループ研究発表を行い、市民の皆さんにも聴いて頂きました。



共に楽しむ子育ての  
～ ありがとうの気持ちを言葉にのせて  
ご清聴ありがとうございました







# 母親研修会

日時：平成29年11月10日(金)

## ■研修先

- ① 小松ドーム (震災食実習体験)
- ② アローレ (昼食)
- ③ 加賀大聖寺 竹の浦館 (クリスマスリース作り体験)

PTA会長をはじめ、委員18名が参加しました。体験を通して交流が深められた研修会となりました。



震災食実習体験



昼食会後 ホールにて撮影♡



大聖寺竹の浦館に手作りリースとともに♪



## ●参加者の感想

震災食の実習は自分たちが想像していた以上に簡単で、自分たちだけでなく、地域のもっと沢山の方々に体験していただけると実際に何かが起こってしまったときにでも行動の知恵の一つとして安心の種として持っておけるのではないかと思います。また、童心に帰ってのリース作り、とっても楽しかったです。

来年は子どもと一緒に作って季節を感じたいと思いました。

## 子どもと向き合う時間



母親委員会  
委員長 忠谷 千鶴

仕事をしている、していないに関わらず子どもと向き合う時間を満足いくほど確保するのはとても難しい事だと、日々実感しています。

子どもたちが小さい時は、身の回りの世話と家事で大変でしたが、楽しくもありせわしく“あっ”という間に1日が終わり、自分もクタクタになっていたなと思返されます。

少し大きくなった今は、自分の事は自分で出来るようにはなったものの習い事への送り迎えなどがあり、やっぱりせわしく毎日を過ごしています。

ふと振り返った時、子どもたちと本当に満足いくまでじっくりと向き合えてきたかという、あまり自信がありません。日々の生活に追われて、一緒に過ごしていても気づかない事が多いなあ、と感じています。

子どもでいる時間はもう少し。今を出来る限り大切に過ごしていきたいと思っています。最後になりましたが、一年間一緒に活動しご尽力いただいた母親委員の皆様、担当の校長先生には心からの感謝を申し上げます。

## 母親委員会 広報担当

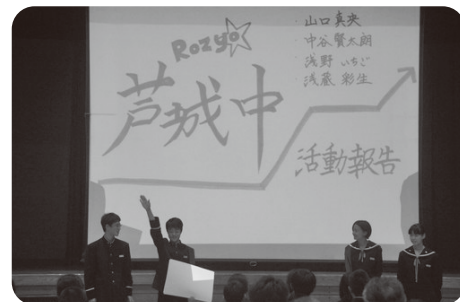
奥村 幸恵(日末小)・西田 梢(中海小)・高野 美貴(蓮代寺小)・出村 康恵(符津小)

～ 一年間、ありがとうございました ～





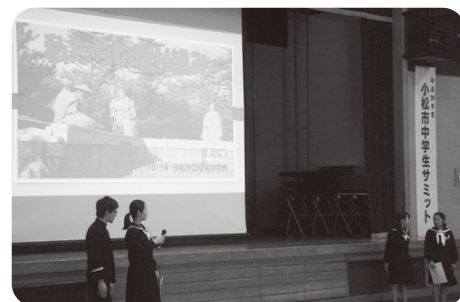
# 小松市 2017 中学生サミット



芦城中学校



中海中学校



安宅中学校

## 事業概要

- 日時・場所 平成29年10月14日(土) 13:00~16:30 芦城中学校体育館
- 目的 ネット問題に関し 各校の取り組み発表や議論等を通じて問題の周知と改善をはかる
- 対象者 小松市立中学校生徒 40名  
(各中学校 3年生2名+2年生1名+1年生1名 男女混成)
- 内容 アンケート調査の分析結果発表、CM動画やポスターの紹介、各校の取り組み発表、パネルディスカッション

## 『親子揃っての取り組みに』

新世代委員会 委員長 藤本 洋右

今年度の新世代委員会事業は、昨年同様、平成27年度から小松市教育委員会と連携して開催している“中学生サミット”の支援でした。今回は3回目ですが、従来同様に、中学生が中心となって開催されました。サミットの前段の作業として、ネットに関するアンケート調査・分析および協議を行う実行委員会を開催しました。今年の中学生の活動の特色は、毎月23日およびテスト期間中はネットを使わない「ネットを考える日」の制定や、サミットに参加していない生徒に情報発信するため「サミット通信」を発行すること、中学生が小学校に出向いてネット問題を教える「出前授業」など、具体策の実行と落とし込みに重点を置いたことでした。また、夏休み期間の7月下旬には、松東中学校と隣接する陸習館にて市内10校の生徒が集まり合宿形式で実行委員会を開催したことは、子どもたちにとって良い思い出になったと思います。また、その様子が石川テレビにて15分間のテレビ番組として放映されました。

新世代委員会としては、実行委員会にて保護者の立場から意見を発表したほか、母親委員と合同で“保護者実行委員会”を開催しました。事前に行った保護者アンケート調査の分析結果から、「子は親の鏡！」というまとめが得られました。親のネット使用時間が長いほど子のネット使用時間が長いなど、子のネット行動と親のネット行動には相関関係があり、子どものネット問題は親のネット問題であり、親子揃ってのルール作り（押し付けではなく、親も子もルールを守る）が大切なのではないかと考えました。アンケートにご協力いただいた保護者の皆さまには、本当にありがとうございました。

サミットや実行委員会を通して、中学生は大人が考える以上にネット問題を自分たちの問題として捉え、真剣に考えていることが分かりました。トラブルに巻き込まれる人を少しでも減らしたい、小松市や社会をより良くしたいという子どもたちの思いには胸を打つものがありました。そして何よりも、声に出さずとも、生徒たちは親ともっと関わりたいという思いが強く感じられました。子どもたちのこうした思いに大人は真摯に向き合いたいものです。親子の会話・コミュニケーションの大切さについて今一度振り返り、ネット問題について、親子揃って取り組んでいこうではありませんか。

### 中学生ネット三か条

- 【時間部門】 時計見て！ もう今日終わるよ 大丈夫？
- 【人間関係部門】 その言葉 相手の前でも 言えますか？
- 【危険防止部門】 ネットでの“この人いい人” それ本当？

### 保護者ネット三か条

- 【時間部門】 今日からは 家族一緒に スイッチオフ
- 【人間関係部門】 画面より 子どもに目をかけ 声をかけ
- 【危険防止部門】 子どもの ネット友達 知っていますか？



## 中学生サミット 感想

### ☆生徒(実行委員)の感想

- 活動を通して自分のネット利用について考え直し、みんなの意見を聞いて改善して行けたので良かったです。
- 何よりもすごく楽しかった。他校の生徒とも交流でき、アイスブレイクなど盛り上がる企画もあって良かった。
- 初めて参加したときは緊張して不安が大きかったけれど、動画作りを行なったりして行くうちに緊張しなくなり、友達もできて「次のサミットはいつかな？」などと考えるようになり、中学生サミットが楽しくなりました。
- パネルディスカッションでは「中学生の生の声が聞きたい」という声に背中を押され、自分が思っているありのままの思いを伝えることができました。
- サミットに参加して、ネットに関するだけでなく、自分から積極的に発言する大切さを学びました。
- 僕はいつもネットを3時間以上しているけど、体に悪影響があると言っていたので使用時間を減らそうと思いました。そしてその分勉強を頑張ろうと思いました。
- 沢山の人が一つになって何かをするとすごく大きなものになり、多くの人の心を動かすことができると感じました。
- 私はスマホもタブレットも持っていませんが、今の世の中は「ネット禁止」という考えはもう通用しません。私たちが必要なことは、良し悪しの区別を見分けること、自分が悪の方向に走らないことがポイントです。
- 「家族でのネット利用のルールは、子どもだけが守るのではなく、大人も一緒に守ればルールを守る人が増える」という意見が特に印象に残りました。大人が守っていないのに子どもだけ守らないといけないというのは子供も正直イヤな気持ちになると思います。

### ★保護者の感想

- 中学生がこれほど真剣に取り組んでいるとは知らなかった。すごく感動した。
- 各学校に持ち帰って広げてもらえれば、初めて成功と言える。今後の活動に期待したい。
- 子どもたちの自然な発言、本音が聞けて良かった。中学生全員に見せてあげたいと思いました。
- 各校PTAの委員会や保護者を巻き込んで、保護者がネット利用を考える機会を増やして行けば良いと思いました。
- 子どもに注意するだけでなく、本人(親)も注意しなければいけないと反省しました。
- 小学校に講演に行くというのはいいことだと思いました。
- こうした取り組みに参加することで、コミュニケーション力やプレゼン力が自然と身についていくと思います。

## 単Pだより

## 統合までの課題 ～つないでいきたい思い～



西尾小学校校長 西村 達矢

私が西尾小学校に赴任して、もう少しで2年が経とうとしています。

赴任すると間もなく統合についての課題に取り組むことになりました。この間、統合する3校が連携して学習計画や学習環境の整備等に着手し、準備を進めてきました。ただ、間近に迫った今でも、課題が完全に無くなったわけではありません。特に3地区がこれまでに育んできた伝統や文化、思い、大切にしてきたことを全て統合はできません。例えば西尾地区ならば小学生がはしごに登り技を披露する「西尾っ子鳶」や手と足が独特の動きをする「尾小屋踊り」、春と秋には「季節を楽しむお茶の会」、数多くの有段者を輩出してきた「百人一首」など、児童の生活や行事、興味と密接に関連してきたものがあります。統合に際して全てを遺すことはできないまでも、受け継いできた文化、ぬくもりの中で育んできた思いを、できるだけつないでいきたいと考えています。

## 松東地区 3小学校統合に向けて



西尾小学校PTA会長 清丸 達正

平成30年3月を持ちまして、松東地区の3小学校が統合されることになり、西尾小学校が閉校することとなりました。

現在の西尾小学校は、旧尾小屋鉾山の閉山を契機として地域の過疎化現象が進み、昭和47年に西尾・西俣・尾小屋の3校を統合して、西尾小学校として現在地に設立されました。前身の旧小学校の創立から143年にわたる輝かしい歴史に幕を下ろします。

これまで、西尾小学校の教育活動に限りないご支援とご協力を頂きました先生方、保護者、地域の皆様、関係各位にあらためて感謝申し上げます。

私自身も卒業生でもあり、閉校することは正直寂しい思いもありましたが、将来の子どもたちのことを思い、統合に向けての準備に取り組んでまいりました。

平成30年4月からは、新たな小学校のスタートとなります。子どもたちのため、そして松東地区の発展のため微力ながら協力していきたいと思っております。

西尾小学校ありがとう！そして、西尾の魂いつまでも！！

## みんなで新しい学校を創ろう



波佐谷小学校校長 片桐 真二

校歌を一生懸命に歌う全校児童の姿は、普段でもとても気持ちのよいものです。閉校・統合

の具体的な準備が進み始めたこの秋ごろからは特に、この子らが、この子らの後に続く子らが、新しい学校を創っていく、将来の松東地区を担っていくのだな。校歌を聞きながら、そんな思いが強まっています。

児童には本年度の始めに、波佐谷小学校最後の一年間、「ありがとう」の言葉を心に持って過ごそうと話しました。友だち、先生方、お世話になっている地域の方々や豊かな自然環境に対して感謝の気持ちを持ってほしいと思ったからです。そうした気持ちが、波佐谷っ子としての誇りや学校への愛着、ひいては、新しい学校生活の創造や仲間づくりへの意欲や自信にもつながることを願っています。

この後、新しい学校のPTA組織づくりも進みます。子どもたちのために、保護者、地域の皆様と職員が一丸となって学校づくりに参画している姿を思い浮かべ、新しい学校に期待感がふくらんでいるところです。

## 統合



波佐谷小学校PTA会長 村田 正博

私は、縁あって2年間PTA会長を務めさせていただきました。就任当初から里山3校を統合し新しく一つの小学校に再編するための松東地区総合推進委員会に参加させていただき、地域の代表や校長及びPTA代表並びに教育委員会の方々とは様々な意見交換をして準備を進めてきました。

平成30年4月には里山3校が新しく波佐谷小学校仮校舎という形で小学校がスタートし「松東みどり学園」が誕生します。そして更に小中一貫教育の開始時点から3年後には義務教育学校に進んでいかなければいけません。

小学校が統合され、全てにおいて新たな経験の中で最初に経験する子どもたちにとって実際にやってみないとわからないことが多々発生していく状況の中、より良い環境をつくり、それを実感できるよう、様々な情報を共有し行政、地域、学校が取り組んでいかなければなりません。

私は波佐谷小学校の代表として、地域の皆さまの声を行政に伝え理解していただくことだと思っています。今私はその役割を十分果たせたのだろうかと自問自答をしています。

今後、皆さんが納得できる学校づくりを進めていくため行政も地域の声を十分汲み取っていただき、本統合に向けて進めてもらえればありがたいです。

子どもたちが元気で仲良く勉強に励む場所が「松東みどり学園」となるでしょう。そして他校が羨む素晴らしい小中一貫義務教育学校となるよう願っております。

このような重大な時期にPTA会長を務めさせていただき、戸惑いながらも多々ありましたが皆様のお力添えがあり活動を続けられました。ありがとうございました。

## 編集後記

今号は4月に『松東みどり学園』として統合される金野小学校、西尾小学校、波佐谷小学校の校長とPTA会長の思いを取り上げました。たくさんの方々の支援によって、今号も無事に発行することができました事を深く感謝いたします。今後とも広報委員会をよろしく願いいたします。

広報委員長 谷口 和也 (向本折小)

## 広報委員会

中田 一基 (符津小)・橋 紀仔 (今江小)  
大野 瑞樹 (金野小)・村田 正博 (波佐谷小)  
岡田 忠之 (木場小)・熊倉 真一 (犬丸小)  
出淵 順一 (日末小)  
橋 伸一 (今江小学校校長)

